

上飯田地区の計画づくり

●地区の特性

泉区の北西に位置する上飯田地区は、南北に流下する境川と和泉川に挟まれた台地部にあり、南北4300mの細長い地区で、全体にゆるやかな丘陵台地で構成されています。

地区全体に対する市街化調整区域の面積割合は、68.9%であり、緑地が多く占める農的景観の地区です。

昭和20年以降から横浜伊勢原線を軸にスプロール化が進み、近年、いずみ中央駅開通や、幹線道路の拡幅整備により沿道周辺で小規模宅地化の市街化が進行しています。

学校と地域が連携したまちづくり活動が盛んな地区であり、中学校周辺の環境整備や清掃活動、通学路の花壇づくり、校庭芝生化などに取り組んでいます。

また、境川沿い、公園周辺の住宅地、バス停付近などで、住民の手による花壇等の環境整備活動が行われています。

上飯田地区の対象区域は、上飯田町のうち上飯田連合自治会の範囲です。（県営いちよう団地と市営上飯田団地を除く）。上飯田連合自治会は、総加入団体数（自治会、町内会）14で構成される組織です。

●地区の緑の魅力

- ①大切に守られてきた、広がりのある農地の緑と旧集落の屋敷林の緑。
- ②折れ曲がり歩くのも楽しい里道に沿って連続する生垣の緑。
- ③地区のランドマークとなっている社寺林の緑。
- ④通学路沿い等、地域の皆さんが育てている沿道の草花の緑。

●地区の緑の課題

- ①大きな緑は多いが花が少ない

木の維持管理は大変だが、愛着がわく花ならば育てていきたいとの声が多くあります。地域が取り組みやすい草花をスタートに、緑のまちづくりを進める必要があります。
- ②連合全体の維持管理活動拠点

連合全体で共有したい、芝刈り機等の維持管理の機材を保管するための拠点整備の検討を併せて進める必要があります。
- ③緑を増やすことで、まちなかの課題も併せて解決

不法投棄される緑地、老朽化したフェンス、利用の少ない子供の遊び場などまちなかの課題を、緑化による魅力化で、併せて解決していくことも必要です。

計画づくり

●区域図



通学路になっている集落道路に沿った屋敷林と生垣

●地区の諸元

地区面積	約300ha
人口	約19,800人(上飯田町)
用途地域	市街化調整区域(地区内の68.9%) 第1種低層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 近隣商業地域 準工業地域(第5種高度地区)
緑やまちづくりに関する既往計画や活動等	飯田北小校庭芝生の維持管理 上飯田中周辺の環境整備・清掃活動 花通り(台村自治会内の通学路の花壇) 花街道(ひなた山第二自治会の沿道緑化) 等
計画策定の母体となった地元組織	上飯田連合自治会

●計画策定のプロセス

上飯田地区の計画づくりは、区域が広いことから、その周知や検討の体制に工夫を要しました。連合自治会のメンバーによる定例会の検討を主に、各単位町内会・自治会に出向いた座談会、事業を地域に周知することを目的とした緑化実験、取り組みを伝える写真展やニュースレター等を主な活動として進めました。

定例会では、地域緑化計画の策定にいたるまでの素案や関連資料を以下のように事務局より提示し、協議を重ねました。

- 平成22年10月：「地域緑のまちづくり構想(案)」
上飯田地区でどんな取り組みができそうか、今まで話題となった箇所を中心に、民有地・公共用地の双方を地図に整理したものを提示し、協議。
- 平成22年11月：「今後の進め方」
今後の具体的な進め方、地域緑化計画及び緑のルールに定める内容(案)、民有地緑化整備の流れ等について、横浜市より説明。
- 平成23年1月：「花と緑のみちしるべ計画(案)」
計画づくりは、学校と地域の連携がみられることから「通学路」に着目。構想(案)の通学路沿いについて、「花と緑のみちしるべ計画(案)」として候補地を提示し、協議。
「通学路は子どもの成育環境の一つ。地域との関わりの中で生活経験を広げる大切な場であり、連合内の各単位町内会・自治会をつなぐ上飯田地区の軸でもある。」と、位置付けを明確化。
通学路を中心として、まちなかに点在する花と緑をみちしるべに、子どもからお年寄りまで気持ちよく安心して歩けるまちづくりを行うことで、まちの魅力向上、笑顔の交流、健康づくり、介護予防などの効用を地域に生み出すことを提案。

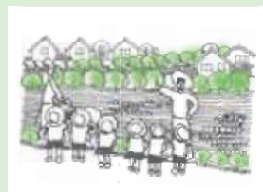
●「花と緑のみちしるべ計画」とは…

「花と緑のみちしるべ計画」は、上飯田地区で以前から取り組まれている通学路沿いの花壇づくりの活動に着目して、**上飯田の地域緑のまちづくりの中心に通学路を置き、道沿いの緑化を広げていく計画**です。

通学路は、学校に通じる道であると同時に、子どもの成育環境の一つであるといわれています。通学路では、美しい花と緑の景観に出会い小さな生物とのふれあいや行き交う地域の人たちとの会話などの楽しい時が生まれます。

通学路は、子どもにとって生活経験を広げる大切な場です。

今後は、通学路を軸にして、さらに地域に花と緑が広がっていくことを目指します。



●「花と緑のみちしるべ計画」の効用

- | | | |
|--|---|----------------------|
| 1. 通学する子どもたちから散歩をするお年寄りまで、気持ちよく安心してまちを歩くことができます。 | ➡ | [まちの魅力向上、健康づくり、介護予防] |
| 2. 花と緑のみちしるべをお世話する人たちと、子どもたちや散歩する人たちが声をかけ合えます。 | ➡ | [笑顔の交流、近所付き合い、安全確保] |
| 3. 花と緑のみちしるべのお世話に参加することで、水やりや手入れが日課となり、高齢者などの生きがいづくりのひとつになります。 | ➡ | [地域貢献、老人力向上、介護予防] |

効用 = 地域にとっての「得」

- 平成23年2月：「地域緑のまちづくり計画(案)」
「花と緑のみちしるべ計画(案)」に、通学路以外の具体的な候補地を重ねたものを「地域緑のまちづくり計画(案)」として提示し、協議。
目的、方法とルール、内容等を確認し、計画の方向性について定例会として賛同。

- 平成23年5月：「みどりと花の会」
立上げと体制づくり
横浜市と協定を結び、今後の事業窓口となる緑化活動団体として、上飯田連合自治会の各単位町内会・自治会の委員で構成される「みどりと花の会」を立ち上げ。「みどりと花の会」の体制は、上飯田連合自治会の中に連合全体の窓口を、各単位町内会・自治会の中にそれぞれの窓口を設置。

- 平成23年11月：「地域緑化計画」
協定締結に向け、実施に向けた年次計画・整備内容等を協議し、計画書を完成。

●緑化実験

平成22年夏、事業を地域に周知することを目的として、連合全体に70個のプランターを配布しゴーヤとアサガオを育てる緑化実験を行いました。

その後、冬のパンジーへの植え替え、プランターの追加など、一時的な緑化実験から、持続的な緑化活動へと展開を図っています。



上飯田地区の地域緑化計画

●緑化の方針と緑のルール

まちも、人も共に育つ緑の里づくり

上飯田のまちは、様々なみどりに囲まれたまちです。

そして地域ぐるみで、子どもたちを育む緑の環境づくりに取り組む、子どもを大切にすまちです。

この地域の土壌と緑の資源をいかしながら、もっと子どもたちを取り巻く環境を中心に、緑と緑をつなげ、まちを心地よくしていきたい。その活動を通じて地域の人と人がつながり、より顔の見える緑の里をつくっていきます。



① 受け継がれてきた地域の緑を守ります

大切に守られてきた農地や樹林地、手入れされた生垣、大きく育った樹木など、これからも受け継いでいきたい地域の緑を守っていきます。

② 通学路を中心に花と緑でいっぱいにします

通学路は、子どもたちにとって、生活経験を広げる大切な場でもあります。この通学路沿いを、花と緑豊かな心地よい空間にしていきます。

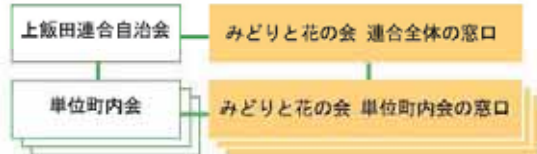
③ 地域に花と緑の拠点と軸をつくります

学校・保育園、地区センター、地域ケアプラザ・市営住宅、町内会館・自治会館、公園、子どもの遊び場、環境整備活動拠点など、みんなが集う地域の拠りどころを、花と緑で豊かにしていきます。また、上飯田のまちを囲む幹線道路と境川・相沢川沿いを花と緑の軸としまちの顔づくりを行います。

④ 連合全体で花と緑を育てる活動をすすめます

案内板の整備、花と緑の講習会、ニュースレター発行、花苗や堆肥づくりなど、連合全体で地域の皆さんの関心を高めながら、花と緑を育てる活動に取り組んでいきます。花と緑を育てていくことで、人も、まちも共に育っていく、そのような緑の里づくりを目指します。

【体制】



●緑化整備計画と維持管理活動計画

* 上飯田地区は景観木保全計画について策定していません。

花と緑のみちしるべ計画



●花と緑の辻づくり

通学路の辻(交差点)を安全でわかりやすくするために緑化を行います。

●花と緑の小径づくり

子どもたちや多くの人たちが楽しく歩けるように、花と緑で通学路を彩ります。

●花と緑のお休み処づくり

散歩を手助けするために、ホッと一息、小さなお休み処をまちなかに点在させます。

●花と緑の駐車場づくり

通学路沿いの駐車場を花と緑で美しく安全な道につくりかえます。

●花と緑の小川づくり

川や水路に沿って気持ちよく歩けるように、四季を楽しめる花と緑を植えます。

花と緑の拠点と軸 計画



●学校・保育園・幼稚園

校庭、園庭の芝生をみんなで守り育てます。

●地区センター

屋上緑化に取り組みます。

●地域ケアプラザ・市営住宅

駐車場・広場の緑化に取り組みます。

●町内会館・自治会館

プランターや花壇による緑化や、腰かけの設置を進めます。

●公園

四季折々の花を育て、みんなの憩いの場にします。

●子どもの遊び場

「子どもの遊び場」を花と緑で魅力アップし、楽しい空間に再生します。

●環境整備活動拠点

中学校周辺の用水路などの地域の皆さんの環境整備活動の拠点を、花と緑で気持ちのよい空間にします。

●幹線道路・境川沿い・相沢川沿い

まちを取り囲む軸となる環状4号線、横浜伊勢原線、境川・相沢川沿いを花と緑で楽しく歩ける、まちの顔づくりを行います。



花と緑の普及計画



●花と緑の名所づくり

地域の花と緑の名所を守り育てていきます。花と緑のみちしるべ案内板や、マップづくりなどで、これらの名所に親しみ、関心を高める活動を進めます。

●花と緑の勉強会

緑に関する講習会・研修会を行い、楽しみながらお世話に取り組みます。

●花と緑の広報

ニュースレターを発行し、様々な取り組みを地域に伝えます。

●花苗・堆肥づくり

地域での取り組みがいつまでも続けられるように、花苗や堆肥などを地域で作っていくことに、少しずつ取り組んでいきます。

●地域緑化計画図

凡例

— 連合境界・単位町内会自治会境界

【花と緑のみちしるべ】

- 花と緑の辻
- 花と緑の小径（小学校通学路等）
- 花と緑のお休み処（民有地）
- 花と緑のお休み処（公共用地）
- 花と緑の駐車場
- 花と緑の小川

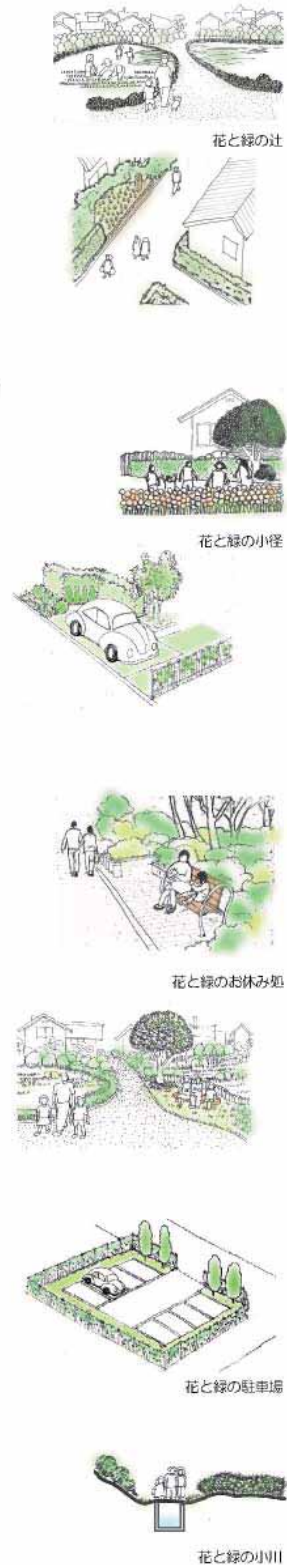
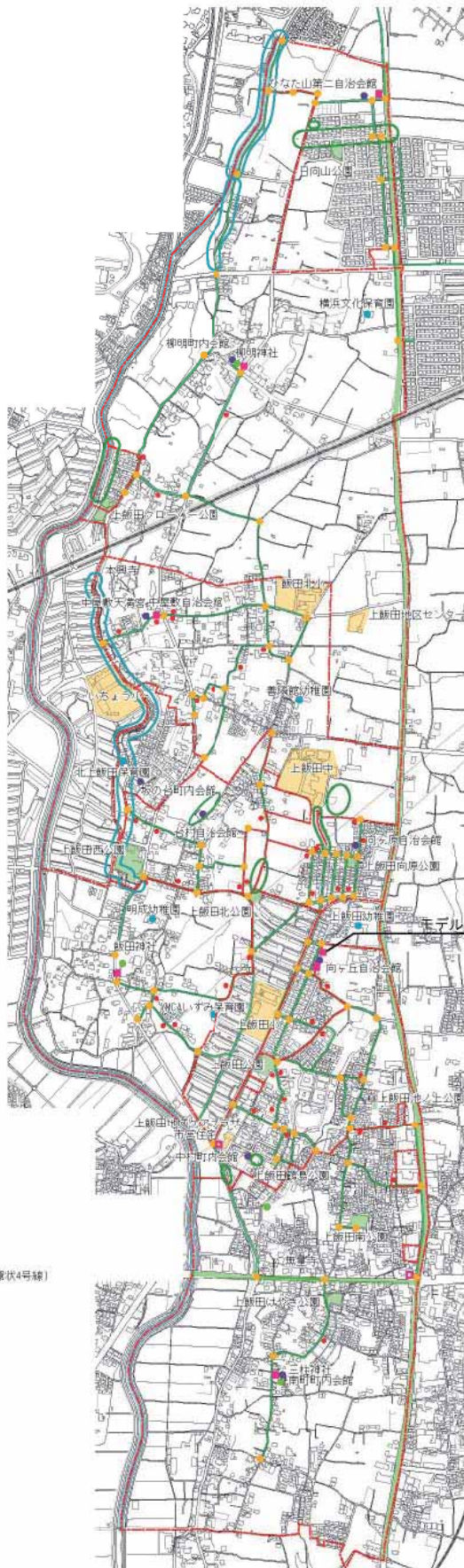
【花と緑の拠点】

- 学校
- 保育園・幼稚園
- 地区センター
- 地域ケアプラザ・市営住宅
- 町内会館・自治会館
- 公園
- 子どもの遊び場
- 環境整備活動拠点

【花と緑の軸】

- 環状4号線
- 横浜伊勢原線
- 境川沿い・相沢川沿い

※ 緑化整備候補地を表示しています。



計画の模式図

